

# Mizuho Daily Market Report

2023/2/10

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	131.13	131.59	+0.19	+2.91
EUR	1.0735	1.0740	+0.0028	▲0.0170
AUD	0.6967	0.6936	+0.0011	▲0.0141
SGD	1.3242	1.3257	▲0.0004	+0.0159
CNY	6.7853	6.7864	▲0.0057	+0.0553
MYR	4.3186	4.3165	+0.0182	+0.0698
THB	33.49	33.47	▲0.01	+0.68
IDR	15096	15095	▲5	+215
PHP	54.48	54.47	▲0.35	+0.61
INR	82.60	82.52	+0.03	+0.34

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.658%	+4.8 bp	+26.5 bp
日本(10年)	0.499%	▲0.1 bp	+0.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.303%	▲6.0 bp	+22.3 bp
オーストラリア(5年)	3.438%	+6.4 bp	+18.3 bp
シンガポール(5年)	2.891%	+3.0 bp	+10.5 bp
中国(5年)	2.678%	▲1.3 bp	▲0.2 bp
マレーシア(5年)	3.512%	+1.7 bp	+4.1 bp
タイ(5年)	2.065%	+0.1 bp	+0.7 bp
インドネシア(5年)	6.264%	▲9.6 bp	▲2.1 bp
フィリピン(5年)	6.074%	+0.9 bp	+31.6 bp
インド(5年)	7.254%	+1.8 bp	+10.9 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,699.88	▲0.7%	▲1.0%
N225(日本)	27,584.35	▲0.1%	+0.7%
STOXX50(ユーロ圏)	4,250.14	+1.0%	+0.2%
ASX(オーストラリア)	4,334.09	+0.3%	+0.7%
FTSTI(シンガポール)	3,359.48	▲0.9%	▲0.1%
SSEC(中国)	3,270.38	+1.2%	▲0.5%
KLSE(マレーシア)	1,464.64	▲0.4%	▲1.7%
SETI(タイ)	1,669.17	▲0.1%	▲0.8%
JKSE(インドネシア)	6,897.365	▲0.6%	+0.1%
PSE(フィリピン)	6,842.79	▲1.2%	▲2.1%
SENSEX(インド)	60,806.22	+0.2%	+1.5%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	270.48	▲0.2%	▲0.4%
金	1,861.78	▲0.7%	▲2.7%
原油(WTI)	78.06	▲0.5%	+2.9%
銅	8,863.75	+0.0%	▲1.8%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	130.00	—	132.20
EUR/USD	1.0640	—	1.0790
AUD/USD	0.6880	—	0.7070
USD/SGD	1.3180	—	1.3300
USD/CNY	6.7640	—	6.8180
USD/MYR	4.2500	—	4.3250
USD/THB	33.28	—	33.90
USD/IDR	14950	—	15120
USD/PHP	54.40	—	54.90
USD/INR	82.40	—	83.30

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は131円台半ばでオープン。実需のドル買いからか仲値近辺には一時131円台後半まで上昇する場面も見られたが、流れが一巡すると131円台半ばまで反落。その後しばらくは動意を欠いた推移が続く中、日銀総裁の後任人事に関する報道があると、瞬間的に130円台後半まで下落後、すぐに値を戻すなど大きく上下動。ただ水準は大きく変わらず、結局131円台前半で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に上値の重い推移となった。前日海外時間においてFRB高官より効派な発言が相次いだこと等からドル買い優勢の展開となった。

海外市場のドル円はロンドン時間において全般的にドル売り優勢となり、130円台後半まで下落した後同水準にてNYオープン。NY時間朝方は米失業保険の新規申請件数や継続受給者数が市場の予想を上回ったほか、米長期金利が低下したことを受けてドル売りが強まり、130円台前半まで下落。しかし、米長期金利が持ち直すとドル円も買いに転じ、131円ちょうど付近まで反発。NY時間午後は前日好調な結果を見た米10年債利回りとは対照的に30年債入札が軟調な結果となり、米金利上昇とともにドル買いの流れは継続。131円台半ばにてクロスした。

## 【金利】

米債利回りは上昇。新規失業保険申請件数は悪化するも市場の反応は薄く、その後NY時間午後の30年債入札に向けてかややセトアップ的にじりじりと売られ始めると、軟調な入札結果を受けて金利上昇に拍車がかかった。特に短期から中期ゾーンにかけての金利が上昇する展開となった。

## 【予想】

本日のドル円は131円台半ばを中心としたもみ合い推移を予想。先日の米雇用統計の結果やFRB高官による効派発言は米利上げが長期化するとの見方につながる材料であり下支え要因とはなり得るが、日銀関連ヘッドラインに対する警戒感が残る中では一方向的な動きとはなりづらいと予想する。

## 【本日の予定】

(日本) 1月 国内企業物価指数  
(アジア) 12月 インド 鉱工業生産  
(アジア) 1月 中国 CPI / PPI  
(アジア) 4Q マレーシア GDP  
(アジア) 4Q マレーシア 国際収支  
(アジア) マレーシア 年間GDP  
(アジア) 豪 RBA四半期金融政策報告書  
(欧州) 12月 伊 鉱工業生産  
(欧州) 12月 独 経常収支  
(欧州) 12月 英 GDP  
(欧州) 12月 英 商品貿易収支  
(欧州) 12月 英 鉱工業生産 / 製造業生産 / サービス業指数  
(欧州) 4Q 仏 賃金(速)  
(欧州) 4Q 英 GDP(速)  
(欧州) 伊 国債入札(12M)  
(米国) 1月 月次財政収支  
(米国) 2月 ミシガン大学消費者マインド(速)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。